



山形スマートドライバー運動

思いやりを増やす。事故を減らす。



スマートドライバー運動は、思いやり・ゆずり合いの潜在意識をお互いにほめ合い、ドライバー同士のコミュニケーションで交通事故を減らそうという、交通事故防止の新しい運動であります。

スマドラ運動のコンセプトは、次のとおりです。

- ① 目指すもの ～ドライバー同士のコミュニケーションの力で、事故を減らす。
- ② 事故を減らす3つのスマート視点 ～シェアする。褒める。楽しむ。
- ③ シンボルマーク ～ピンクのチェッカーフラッグ。
- ④ 事故を減らすことはエコにもつながる。

映画「おくりびと」脚本家小山薫堂さんが発起人となり、首都高の事故を減らす“ソーシャルブランド”として2007年8月にキックオフした「東京スマートドライバー」が始まりです。

山形スマドラは、2010年10月山形地区安管の青年部研修会が東京スマドラプロジェクトを研修したのが始まりで、県安管は、2011年から事業計画に盛り込んで活動しています。2011年7月には、県内14地区安管の31人にスマドラ運動推進委員を委嘱しました。推進委員が各地区のスマドラ運動の核となって活動し、県内全域での運動の広がりを目指しております。

5

KNOWLEDGE [スマートなドライブを実施するドライブアクション]



GOOD ACCELE

空いている時、渋滞時、ETCゲート通過時。
時間帯、道路状況に応じたスピードで、スマートな走りを。



EARLY BRAKE

カーブ手前の直線でアクセルを緩め、ゆっくりブレーキを踏んで早めに減速してからカーブへ。
心の余裕が大事です。



WINKER COMMUNICATION

進路、車線変更時のウinkerや渋滞時のハザード。
早めの表示が、思いやりのハートを伝えてくれます。



KEEP DISTANCE

車間距離を適度に保てば事故も渋滞も起こりにくい。
混雑時は「学校のプール」分の確保がひとつの目安です。



USE INFORMATION

道路状況をインターネットやラジオで調べ、ルートを確認しておく。
余裕で走る大人のなせる技です。

皆さんも、スマドラ運動に参加しましょう。
最初に、スマートドライバー宣言をしましょう。

- ★ 山形スマートドライバーのブログ
<http://ameblo.jp/yamagata-sd/>
- ★ 東京スマートドライバーのウェブサイト
<http://www.smartdriver.jp/>

